

光選択的前立腺蒸散術クリニカルパス

様

病日	入院日	手術日	1病日	2病日(退院日)
日付	/	/	/	/
観察	検温をします 	手術前に検温をします 	午前中と午後に検温をします 	
	尿の量や色を観察します	☆手術後、以下のことを観察します  <ul style="list-style-type: none"> ・血圧(6時間毎)、尿量(3時間毎) ・下肢の感覚が戻っているか、圧迫でお尻が赤くなってないか ・イキミの症状・排尿用の管がしっかり固定されているか ・管の脇から尿が漏れないか 	☆排尿用の管を抜去後以下の項目を観察します <ul style="list-style-type: none"> ・排尿間隔(何時間おきに尿がでているか) ・残尿感(尿の残った感じ) ・尿の量や色 	
安静	特に制限はありません 	手術後はベッドの上で安静になります 寝返りはうてますが、ベッドを降りたり、起き上がることはできません。 	回診後、安静が解除されます その後は特に制限はありません	特に制限はありません 
食事	普通食がでます  夜9時以降は食事・水分がとれません 水分は手術が午後の場合、翌8時まで水分のみ摂取可能です	食事も飲み物もとれません  手術が朝1番の場合、夕方から水分がとれます	朝から水分がとれます  昼からお粥が出ます  夕から普通食が出ます 	普通食がでます  1日1000mL以上の水分をとるようにしましょう 
保清	入浴できます 		排尿用の管が抜けたら入浴ができます 	
排泄	排尿はすべてトイレ内の袋へためてください	手術後は排尿用の管が入ります 排便はベッドの上になります 	安静解除後は排便はトイレでできます 排尿用の管が抜けたら、尿をためてください 	
診察		医師の回診が8時半頃からあります 		回診後退院となります 
処置	寝る前に下剤を飲みます 	手術前に浣腸をします 手術前に弾性ストッキングを着用して下さい 手術後、排尿用の管から生理食塩水を流し、出血で管が詰まるのを予防します	回診時排尿用の管を抜きます 腰の管を抜きます	
検査			朝、採血があります 	
薬物療法	今まで服用していた薬は薬剤師に渡してください 	持参した薬は種類によって服用するものもあります  点滴を入れます(点滴は翌日まで持続で入ります) 手術後腰に麻酔の管が入ってきます(痛み止めを入れます) 手術中と手術後に抗生物質の点滴を行います 痛みやイキミの症状があれば坐薬を使用します	点滴が2本あります(1病日)  腰の管からの薬を止めます(1病日) 持参した内服薬が再開になります 	
説明	手術について説明し、同意書のサインを確認します 入院生活について説明します 入院診療計画書をお渡しします 		退院後の生活について説明します	退院時に次回外来の予約券をお渡しします
目標	1)入院中の予定が分かる	2)術後の安静が守れ、術後出血が増強しない 3)排尿用の管を挿入中の生活が苦痛なく過ごせる	<排尿用の管を抜去後> 4)退院に向けて排尿パターンが確立できる	5)退院後のスケジュールが分かる

症状・経過によってはスケジュール通りにならない場合があります。

2015年4月作成 (2016年9月13日改訂) パス委員会承認聖隷浜松病院A4病棟

入院に係るおおよその費用(概算表)

このクリニカルパスに計画された入院費用の概算額を以下に示します。

年齢等により、負担割合や負担限度額が異なりますので、該当する年齢・負担割合の欄を確認してください。

■ 光選択的前立腺蒸散術 (4日入院の場合)

年 齢	負担割合	金額 (室料差額を含まず)
6才～69才	3割	約 140,000円
	3割	約 100,000円
	2割	約 70,000円
70才以上	2割	約 70,000円
	1割	約 60,000円

*70才以上の方は自己負担上限額を考慮して算出しております。

- ・上記金額は、このクリニカルパスによる治療を受けられた方の実際の医療費をもとに算出しています。治療内容によっては、概算表どおりにならない場合もありますので、あくまで目安としてご参照ください。
- ・実際の治療・検査に基づく費用の概算額については、退院が決まったら、病棟スタッフステーションにお尋ねください。
- ・「**限度額適用認定証**」をご提示いただくと、医療費のお支払いが、自己負担限度額までとなります。詳しくは、入院手続書類(緑色の封筒)の中の「**限度額適用認定証のご案内**」をご覧ください。
- ・上記金額には、食事の負担金は含みませんが、病衣・室料差額は含まれておりません。